

## 就労可能年数とライブニッツ係数表

### (1) 18歳未満の者に適用する表

年齢	幼児・児童・生徒・学生・右欄以外の 働く意思と能力を有する者		有職者	
	就労可能年数	係数	就労可能年数	係数
歳	年		年	
0	49	7.549	67	19.239
1	49	7.927	66	19.201
2	49	8.323	65	19.161
3	49	8.739	64	19.119
4	49	9.176	63	19.075
5	49	9.635	62	19.029
6	49	10.117	61	18.980
7	49	10.623	60	18.929
8	49	11.154	59	18.876
9	49	11.712	58	18.820
10	49	12.297	57	18.761
11	49	12.912	56	18.699
12	49	13.558	55	18.633
13	49	14.236	54	18.565
14	49	14.947	53	18.493
15	49	15.695	52	18.418
16	49	16.480	51	18.339
17	49	17.304	50	18.256

## (2) 18歳以上の者に適用する表

年令	就労可能年数	係数
歳	年	
18	49	18.169
19	48	18.077
20	47	17.981
21	46	17.880
22	45	17.774
23	44	17.663
24	43	17.546
25	42	17.423
26	41	17.294
27	40	17.159
28	39	17.017
29	38	16.868
30	37	16.711
31	36	16.547
32	35	16.374
33	34	16.193
34	33	16.003
35	32	15.803
36	31	15.593
37	30	15.372
38	29	15.141
39	28	14.898
40	27	14.643

年令	就労可能年数	係数
歳	年	
41	26	14.375
42	25	14.094
43	24	13.799
44	23	13.489
45	22	13.163
46	21	12.821
47	20	12.462
48	19	12.085
49	18	11.690
50	17	11.274
51	16	10.838
52	15	10.380
53	14	9.899
54	13	9.394
55	13	9.394
56	12	8.863
57	12	8.863
58	11	8.306
59	11	8.306
60	11	8.306
61	10	7.722
62	10	7.722
63	9	7.108

1. 18歳未満の有職者及び18歳以上の者の場合の就労可能年数については、
  - (1) 55歳未満の者は、67歳から被害者の年齢を控除した年数とした。
  - (2) 55歳以上の者は、平均余命年数の2分の1とし、端数は切上げた。
2. 幼児・児童・生徒・18歳未満の学生及び働く意思と能力を有する者（有職者・家事従事者・18歳以上の学生以外）の場合の就労可能年数及びライフニッツ係数は、下記（例）に準じて算出する。
  - （例）3歳の場合
    - (1) 就労の終期（67歳）までの年数 64年（67年-3年）に対応する係数 19.119
    - (2) 就労の始期（18歳）までの年数 15年（18年-3年）に対応する係数 10.380
    - (3) 就労可能年数 49年（64年-15年）
    - (4) 適用する係数 8.739（19.119-10.380）